

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和8年第2週 (ARIのみ第1週) の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (2 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。  
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 1 例。  
5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日南	20歳代	女	肺結核	なし
		日向	60歳代	男	肺結核	咳
4類	つつが虫病	都城	50歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、その他
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、菌血症
	梅毒	宮崎市	0～4歳	女	先天梅毒	その他
	百日咳	延岡	5～9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日南	50歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタッカート

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,173 人 (定点当たり 52.0) で、前週比 108% と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱であった。また、第 1 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,388 人 (定点当たり 57.8) で、前週比 60% と減少した (年末年始含む)。

#### 【インフルエンザ】

報告数は 877 人 (31.3) で、前週比 81% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (37.8) の約 0.8 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

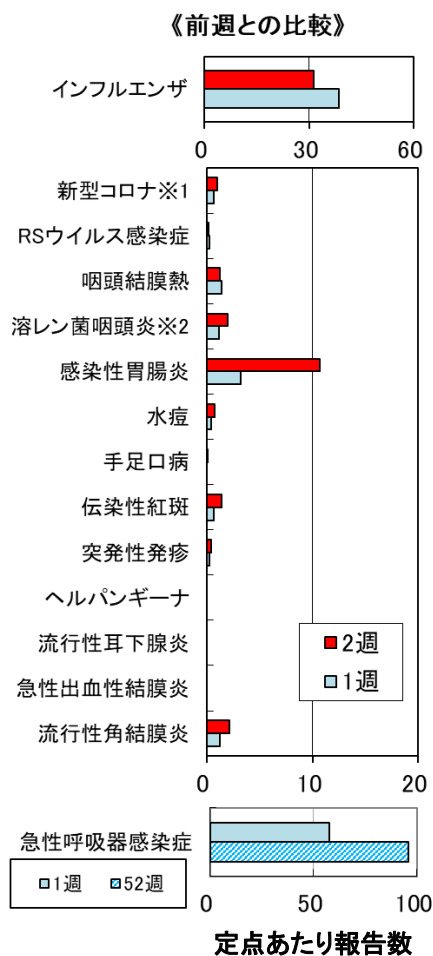
#### 【伝染性紅斑】

報告数は 21 人 (1.4) で、前週比 210% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.53) の約 2.6 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 4 割を占めた。

#### 【咽頭結膜熱】

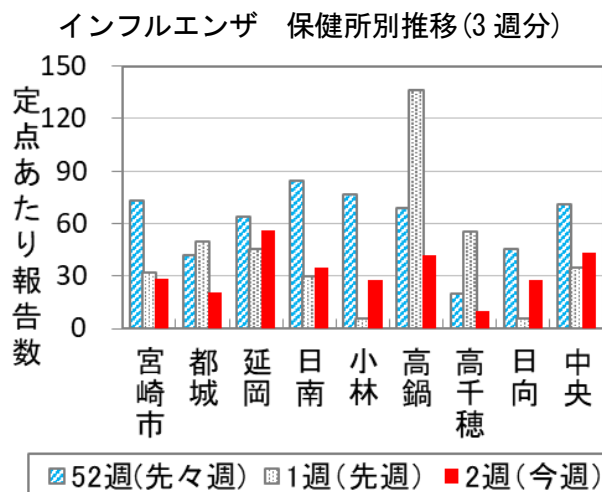
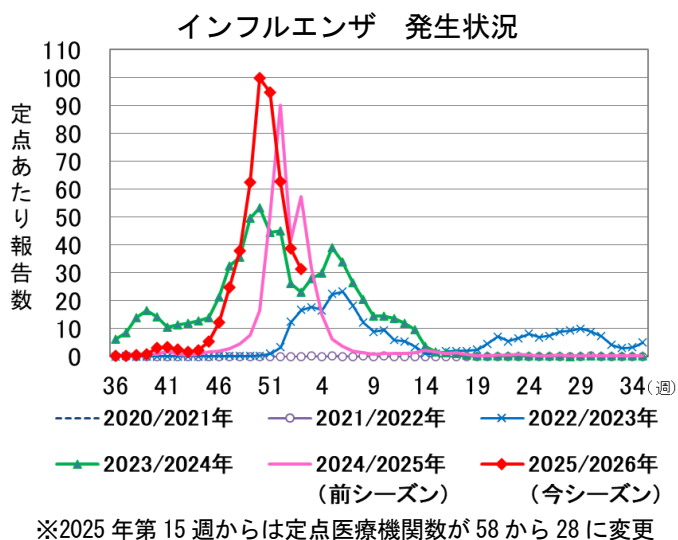
報告数は 19 人 (1.3) で、前週比 89% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.57) の約 2.2 倍であった。年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 4 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

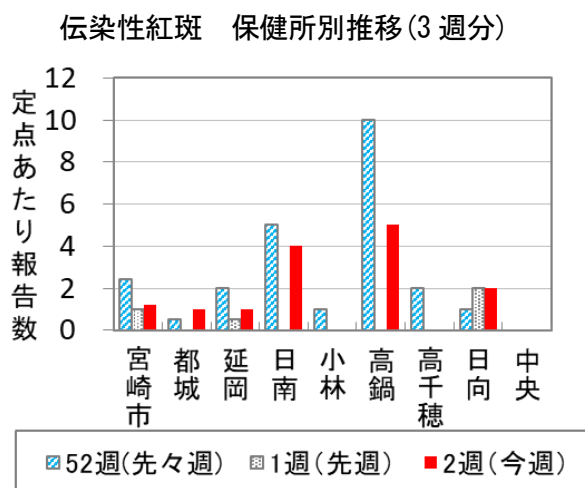
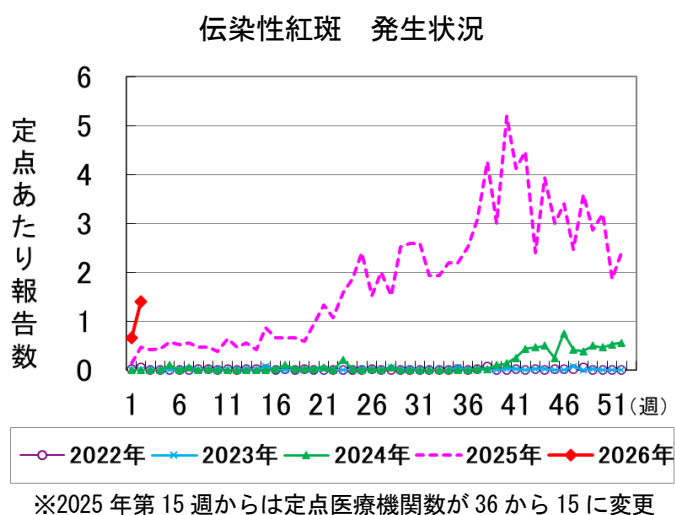
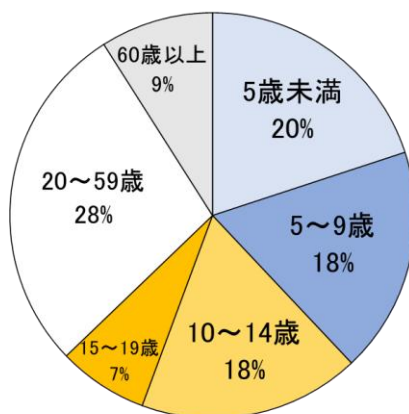


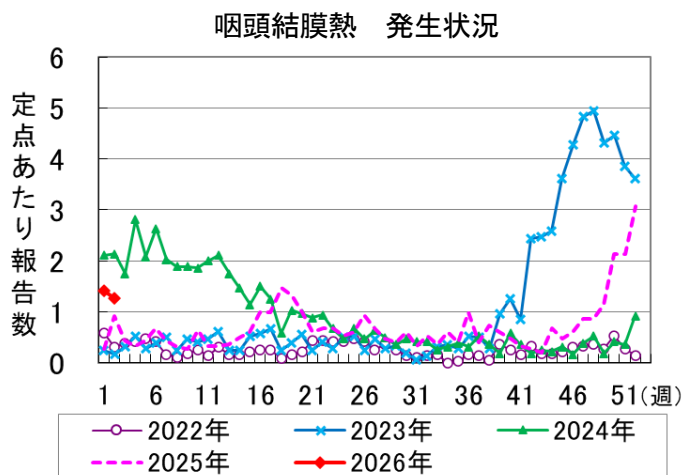
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

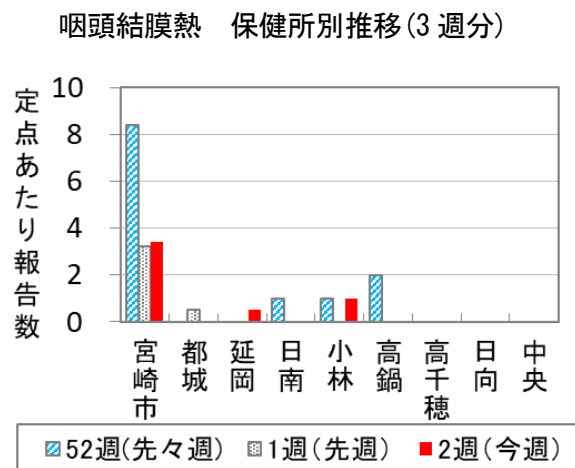


インフルエンザ年齢群別グラフ(第2週)





※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は4例(定点当たり0.57)で、宮崎市(3例)、日向(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が2例、15歳～19歳が2例であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は2例(定点当たり0.29)で、高鍋(1例)、日向(1例)保健所から報告があった。年齢はいずれも5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(28.3)、咽頭結膜熱(3.4)、水痘(2.2)
都城	インフルエンザ(20.5)
延岡	インフルエンザ(56.0)
日南	インフルエンザ(35.0)、伝染性紅斑(4.0)
小林	インフルエンザ(28.0)、感染性胃腸炎(26.0)
高鍋	インフルエンザ(42.0)、伝染性紅斑(5.0)
高千穂	インフルエンザ(10.0)
日向	インフルエンザ(28.0)、感染性胃腸炎(35.0)、伝染性紅斑(2.0)
中央	インフルエンザ(43.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

（2025 年第 52 週：12 月 22 日～28 日搬入分） （2026 年第 1 週：12 月 29 日～1 月 4 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	7
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
インフルエンザウイルスAH3・インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)			1
検出せず※2			5
受付検体数			15

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			0
受付検体数			0

\* 第 1 週は、ARI 病原体定点医療機関からの検体提出が 0 件であった。

○ 急性呼吸器感染症（ARI）※<sup>1</sup>サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※<sup>1</sup> 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※<sup>2</sup> 上記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

🇯🇵 全国 2025 年第 52 週、2026 年第 1 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

● 第 52 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	295 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	44 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	3 例	エムボックス	2 例
	つつが虫病	24 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例
	日本脳炎	1 例	ブルセラ症	1 例	レジオネラ症	31 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	20 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例
	水痘(入院例)	11 例	梅毒	167 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	352 例	麻疹	1 例

● 第 1 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	41 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	3 例
	デング熱	2 例	レジオネラ症	37 例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	9 例	急性脳炎	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	32 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	28 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	46 例	麻疹	1 例		

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

### ●第52週

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 79%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 95%とほぼ横ばいであった。

インフルエンザの報告数は 87,534 人(22.8)で前週比 70%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(11.4)の約 2.0 倍であった。宮崎県(62.6)、鹿児島県(48.0)、佐賀県(39.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 997 人(0.43)で前週比 84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.38)の約 1.1 倍であった。宮崎県(2.4)、鹿児島県(2.0)、熊本県(1.7)、山口県(1.7)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 861 人(0.37)で前週比 116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.52)の約 0.7 倍であった。宮崎県(3.1)、島根県(1.3)、福岡県(0.86)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約半数を占めた。

### ●第1週

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 44%と減少した(年末年始含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 40%と減少した。

インフルエンザの報告数は 33,217 人(10.4)で前週比 45%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(16.6)の約 0.6 倍であった。宮崎県(38.7)、鹿児島県(23.2)、沖縄県(23.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 210 人(0.11)で前週比 26%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.36)の約 0.3 倍であった。愛媛県(0.85)、熊本県(0.67)、宮崎県(0.67)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 255 人(0.13)で前週比 35%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.39)の約 0.3 倍であった。宮崎県(1.4)、山形県(0.55)、群馬県(0.47)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2025 年 12 月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年12月(2.5)の約1.1倍であった。

《疾患別》

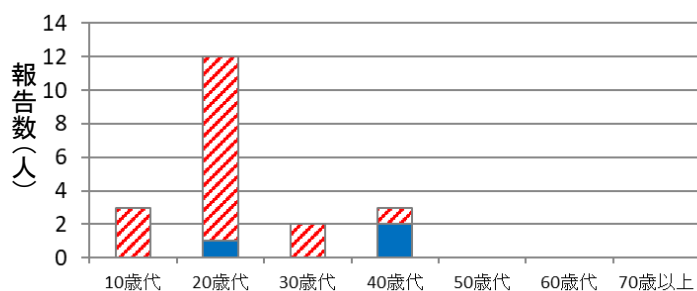
○性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約1.1倍、昨年12月の約1.3倍であった。  
20歳代が全体の6割を占めた。  
(男性3人・女性17人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.9倍であった。(女性7人)

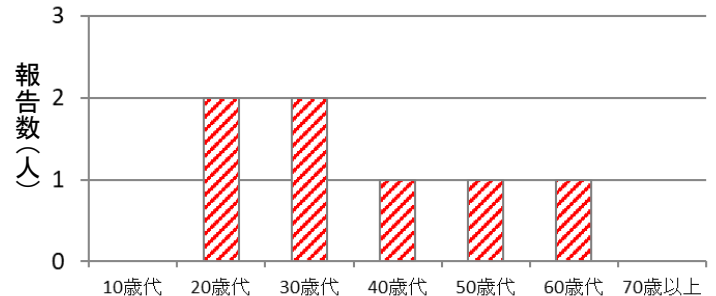
○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年12月の約0.3倍であった。  
(女性1人、前月報告なし)

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月及び昨年12月と同率であった。(男性4人・女性2人)

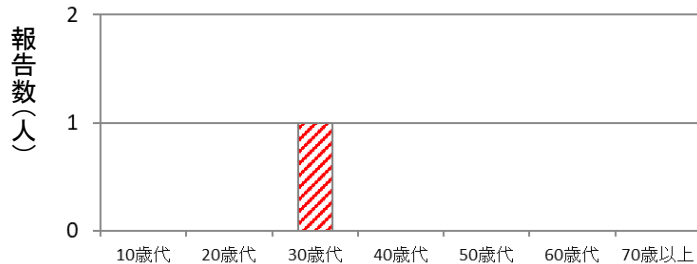
性器クラミジア



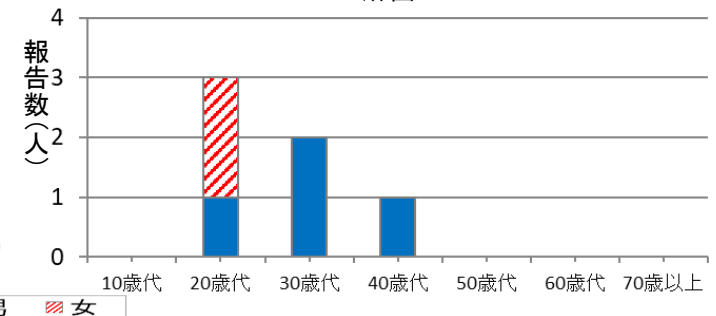
性器ヘルペス



尖圭コンジローマ



淋菌



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,126人(4.2)で、前月比96%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,136人(2.2)で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症932人(0.95)で前月比103%、尖圭コンジローマ482人(0.49)で前月比102%、淋菌感染症576人(0.59)で前月比89%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で、前月比147%と増加した。また、昨年12月(2.1)の約1.7倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月の約1.4倍、昨年12月の約1.6倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった。(前月及び昨年12月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,347人(2.8)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,304人(2.7)で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症34人(0.07)で前月比140%、薬剤耐性緑膿菌感染症9人(0.02)で前月比100%であった。



疾病名		第01週	第02週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	929	877	255	82	168	70	56	84	20	56	86
	定点当り	38.71	31.32	28.33	20.50	56.00	35.00	28.00	42.00	10.00	28.00	43.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	16	28	2	2	3	3	4	4	8	1	1
	定点当り	0.67	1.00	0.22	0.50	1.00	1.50	2.00	2.00	4.00	0.50	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	3	2		1	1						
	定点当り	0.25	0.13	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	19	17		1		1				
	定点当り	1.42	1.27	3.40	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	14	29	10	3	2	2	2	5		3	2
	定点当り	1.17	1.93	2.00	1.50	1.00	2.00	2.00	5.00	0.00	3.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	38	160	31	10	30	7	26	3	13	35	5
	定点当り	3.17	10.67	6.20	5.00	15.00	7.00	26.00	3.00	13.00	35.00	5.00
水 痘	報告数	5	11	11								
	定点当り	0.42	0.73	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	8	21	6	2	2	4		5		2	
	定点当り	0.67	1.40	1.20	1.00	1.00	4.00	0.00	5.00	0.00	2.00	0.00
突発性発しん	報告数	3	6	1	1		1		1		1	1
	定点当り	0.25	0.40	0.20	0.50	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	13	1	9	3						
	定点当り	1.25	2.17	0.33	4.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	4	3							1	
	定点当り	0.14	0.57	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		2						1		1	
	定点当り	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		1.00	

2026年 01週(12月29日～01月04日)

		第52週	第01週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	2686	1388	362	288	203	165	6	209	20	33	102
	定点当り	95.93	57.83	45.25	72.00	67.67	82.50	6.00	209.00	20.00	16.50	51.00

第2週:ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7  
第1週:ARI定点:24、小児科定点:12(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:4、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～02週 保健所受理分)

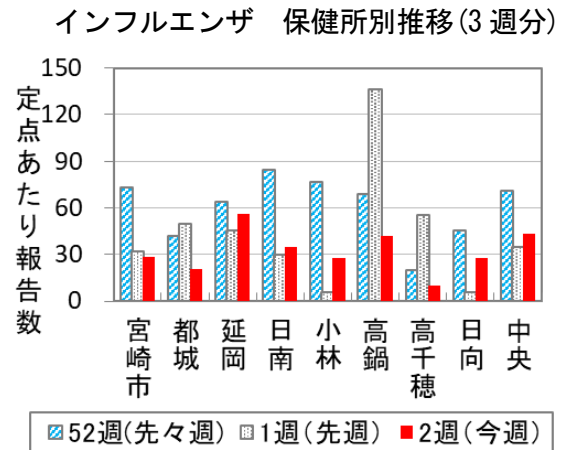
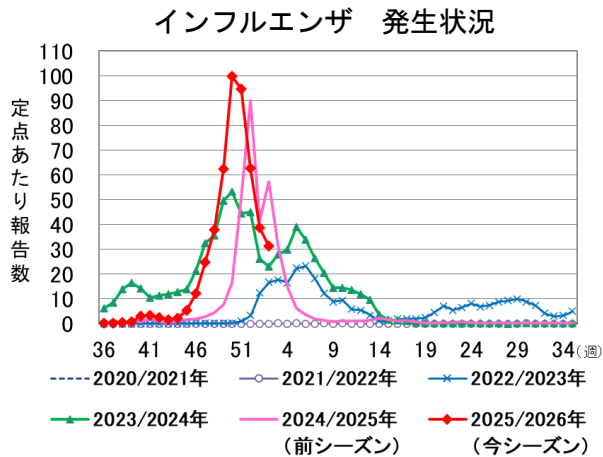
2類感染症	結核	3例(2)										
4類感染症	つつが虫病	1例(1)										
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1例(1)	梅毒				1例(1)	百日咳			3例(2)	

( )内は今週届出分、再掲

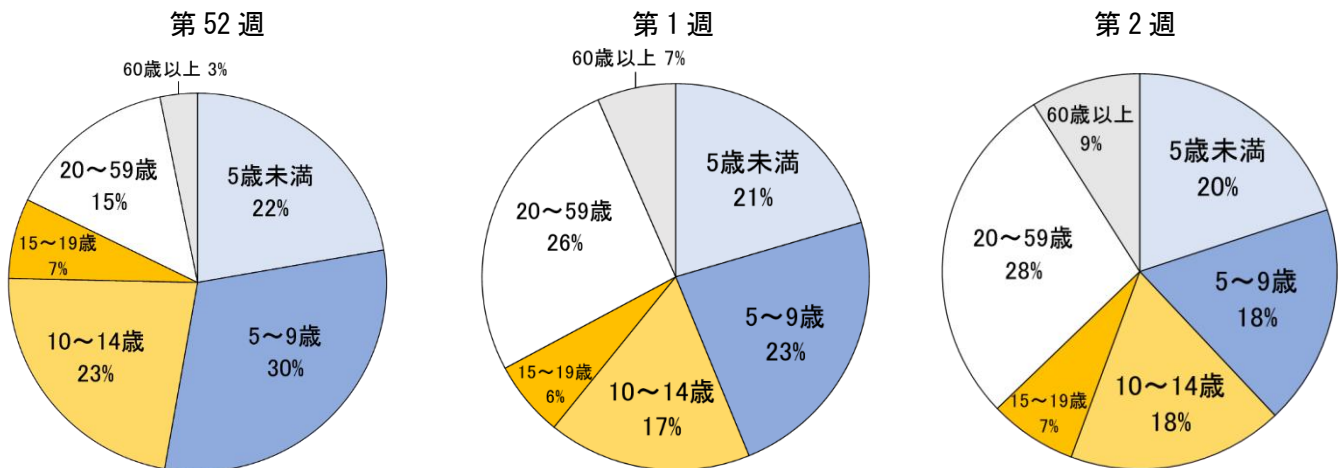
## インフルエンザ情報《県内第2週、全国第52・1週（再掲）》

### □ 県内第2週インフルエンザ発生動向

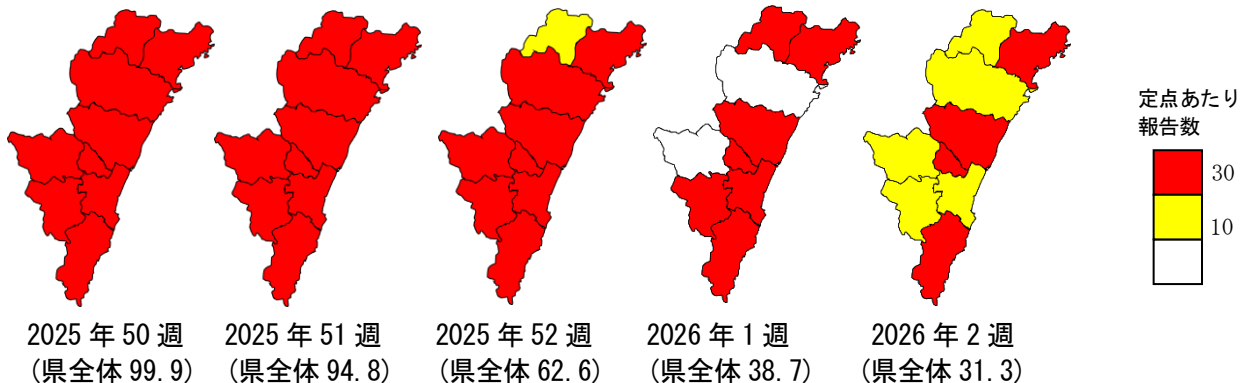
1月5日～11日までの1週間では877人(31.3)の報告があった。前週比81%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(37.8)の約0.8倍であった。 \* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



### インフルエンザ 年齢群別グラフ



### 保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2025年第50週～2026年第2週



### □ 全国第52週、1週インフルエンザ発生動向

第52週(2025年12月22日～12月28日)は87,534人(22.8)の報告があった。前週比70%と減少した。第1週(2025年12月29日～2026年1月4日)は33,217人(10.4)の報告があった。前週比45%と減少した(年末年始含む)。宮崎県(38.7)、鹿児島県(23.2)、沖縄県(23.2)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5～9歳が16%、10～14歳が12%、15～19歳が8%、20～59歳が38%、60歳以上が9%であった。